



# なでしこで飯は食えるか？ (ビジネスへの挑戦)

2007年11月10日

発表者: Choco



# 筆者の履歴

- 普通の会社員(ただの中年親父)
- SEマネージャーとして東奔西走
- なでしこ歴は、1年10ヶ月
- 一昨年、なでしこで業務用パッケージの作成を思い立つ。



# なでしこに出会う。

## ■ 一番最初に考えた問題点

- 日本語で開発できる、怪しい言語だ(笑)
  - ✓ 非常にわかり易い。
- ユーザー数が少ない為、文献が乏しい。
  - ✓ ユーザー数が少ないので、直接開発者とやり取りも可能だった。
- 一体、どこまでの機能が開発可能なのだろうか？
  - ✓ 2007年11月現在で、命令は1,000を超えている。
- 使える環境としては、どこまで？ Win、Linux等
  - ✓ Windowsのみだった。

# 私の思う、なでしこのメリットとデメリット

## ➤ 日本語である。

- ✓ 日本人なら誰でも、見ただけで処理がなんとなくわかってしまう。(メンテナンスが容易)
- ✓ 言語習得が容易(開発効率が高い)

## ➤ CやJavaに比べて命令が少ない

- ✓ なでしこ単体だけでなく、Windowsの命令も使えば実用上かなりの部分をカバーできる。

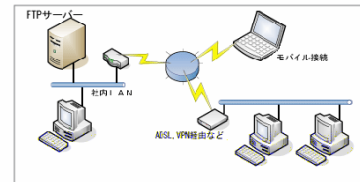
## ➤ 実行速度が遅い

- ✓ 科学技術計算をやる訳ではないので、速度が気にならない分野にする。

- **上記事項を検討後、なでしこで飯が食えると確信！(ビジネスで使える。)**

Inventory Information のシステム構成

- IM (Inventory Information Manager): 管理者用情報閲覧プログラム  
取集した情報の照会、印刷、CSV出力などができます。
- IC (Inventory Information Client): 一般ユーザー用情報出力プログラム  
インストールするだけで、後の操作は不要です。

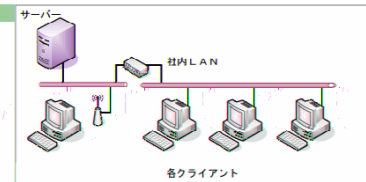


WAN(遠隔地)  
FTPプロトコルを利用して遠隔地の情報を収集することが可能。各支社内の情報も一括管理できるので、明確になりがちな支社の情報も箇所て集中管理できます。

▲FTPプロトコルを利用する事により外部のPCも管理可能

LAN(社内)

TCP/IPを使い社内LANに接続しているクライアント情報を取得。非常駐アプリケーションなので、ネットワークや端末への負担もかかりません。また、管理用PCを遠くはないので社内環境に合わせて資産管理をする事ができます。



▲イントラネット等、セキュリティ重視の時に直接ファイルコピー

他 社	種類選定	
●抽出/照会機能(任意項目での絞り込みも可能)	●管理用コンソール	●クライアント
<p>【】</p> <p>名: [任意]</p> <p>出: [任意]</p> <p>名: [任意]</p> <p>ス: [任意]</p> <p>●W: [任意]</p> <p>●CN: [任意]</p> <p>●圧: [任意]</p> <p>●デ: [任意]</p>	<p>●管理用コンソール</p> <p>●クライアント</p>	<p>●クライアント</p>



# 「InventoryInformation」 って何？

- ▶ IT資産管理専用ソフトウェアです。
  - ✓ サーバーモジュール及び、クライアントモジュールの2構成です。
  - ✓ 本社内、拠点内、支社内のクライアントPCの状態をサーバー側で把握します。
  - ✓ 主な用途としては、不審なソフトの発見、ライセンスの管理、買換え対象のPC抽出、windows修正ファイルの適用状況の確認など。

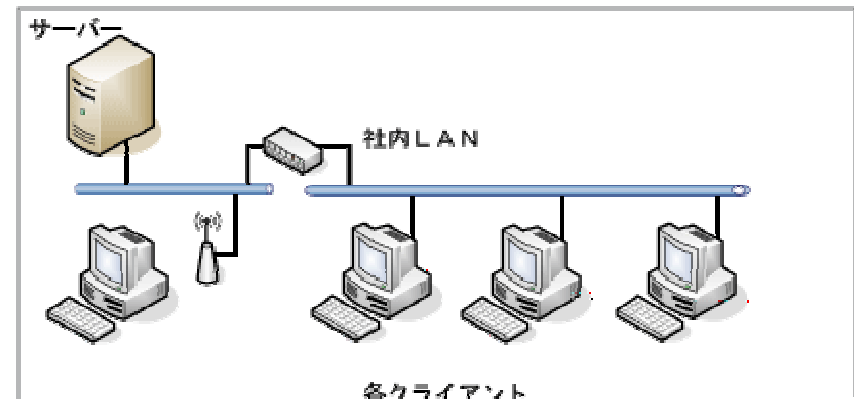
# クライアントモジュールの動き

- なでしこのレジストリ取得命令から、各種情報を取得
- なでしこ標準命令では取得できない物に関しては、WindowsAPIを利用。
- それでも取得できない物は、Vbscript等で取得。
- 取得した情報を「BlowFish」アルゴリズムで暗号化(なでしこの暗号化命令)して、サーバーへ送信。

## 機能

検出/照会機能(任意項目での絞込みも可能)  
【検出項目】  
検出日付 / コンピュータ名 / ユーザー名 / OSバージョン / IICバージョン / メモリ容量 / HD(ドライブ名、容量、使用量 各論理ドライブ毎に表示) / 登録プリンタ名・プリンタPATH(3つまで) / デフォルトプリンタ名 / MACアドレス / IPアドレス / Subnetmask / GATEWAY / Primary・SecondaryDNS / WINNIY検出 / ドメイン名 / ORG / OWNER / ANTIVIRUSソフト名 / 適用サービスパック名 / CPU名 / VGA名 / インストールソフト名(140個まで)

Windows修正バッチ適用状態チェック機能  
CSV出力機能  
圧縮バックアップ機能  
デュアル接続機能(FTP or TCP-IP)



# サーバーモジュールの動き

- RDBは標準で、SQLITE2を使用。(なでしこでは、ネイティブで対応している。)
- クライアントからの暗号化されたモジュールを複合して、RDBに格納。
- 各種情報をCSV出力
- 現在、PostgreSQLにも対応中(2007年12月発売予定)
- レポート系が弱いので、三菱電機インフォメーションテクノロジー様のデータ集計ツール「QL」と協業が決定

COMPUTER	OSVer	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
FUJITSU	Windows 2000	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows XP	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows 2000	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows 2000	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows XP	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows XP	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows XP	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows XP	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows XP	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows XP	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows 2000	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI
xxxxxx-xxxx	Windows XP	KB824151	KB833407	KB834707	KB839643	KB842773	KI

資産管理メインメニュー  全データ

照会 BackUp 終了

よく検索する製品

削除 CSV出力 設定

検索するフィールド

○ 以上

● 同じ

○ 以下

検索する値を入力して下さい。

Tokyo Information System Co.,Ltd

検索開始

データ復号中 SQLファイル削除中 データ登録中 登録済みデータ削除中 KBファイル作成中





# 今後の予定

- クライアントモジュールの自動更新機能
- 各種RDBへの対応
- イベントビューアのエラー情報を取得
- ファイル共有ソフトが発見され次第、管理者にメール送信
- WindowsVISTAへの対応
- ネットワーク監視機能の実装など